Popoki

Newsletter No.153 2018.5.28

ronniandpopoki(at)gmail.com
http://popoki.cruisejapan.com

もうすぐ６月です！裸足を楽しめる季節の到来！みなさまは裸足で歩くことが好きですか？たっぷり楽しんでください。でも、足をケガしないようにね！

Popoki's Hot News!

COMING SOON!

７月１日（日）は灘チャレンジ！

阪神淡路大震災から毎年、神戸大生と灘区民が協働で開催するお祭りです。ポーポキは、ブースで販売や遊びとポーポキ友情物語展をします。大槌町からシフォンさんも来ます！

「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのほにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。

「今、平和を求める切実さ

少し忘れかけていましたが、この数年は学術の世界でも平和を守ることが切実な課題になっていました。思い出しましょう。2013 年に特定秘密保護法、2014 年に防衛装備移転３原則（武器輸出制限基準を撤廃、集団的自衛権承認の閣議決定）、そして 2015 年に安全保障関連法が成立し、2016 年には安全保障技術研究推進制度が発足しました。安全保障技術研究推進制度は防衛省による軍事研究のためのファンドで、2016 年度は 3 億円、2017 年度は 6 億円、2018 年度は 101 億円の予算が計上されました。アカデミアが軍事研究に関わることの危機感から、日本学術会議は 2017 年に「幹事会声明」により、「軍学共同」に批判的な見解を発表しました。

さらに思い出しましょう。女性差別撤廃条約はその前文で、男女平等なくしては平和は実現しないことを述べています。私は最近、この条約を繰り返し読み直しています。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール ronniandpopoki (at) gmail.com **！**

「大槌町活動報告会」

もりにゃん

2018 年 4 月 21 日に学生青年センターで、2018 年 2 月 9 日～12 日の大槌訪問の報告会が行われました。個別の報告は、ポーポキ通信 NO. 151、152 をご覧ください！

私が大槌町訪問に参加したのは 2015 年。それから、大槌の町はどうなっているのか、大槌の人はどうしているのか。そして、参加したメンバーはどんな出会いがあったのか。それらを知りたくて、報告会に参加しました。

驚いたニュースは、来年度開催されるラグビーワールドカップ開催に向け、駅が再建されたこと。しかし、運営等については町負担、とのこと。駅だけ建設されている状態だそうです。そして何より、7 年目を迎えた今、仮設住宅の住居支援打ち切り問題が重大かつ切実な問題となっていること。

また、紙芝居を作るワークショップでは、インドネシアからの留学生は、インドネシアも日本と同様に津波や地震など災害の多い国であり、それぞれの体験が共通点として意見を交換することができた、という話もあり、様々な人が関わることの意味を改めて感じました。報告の中には、マストでの展示の際に急遽行った紙芝居に、高校生が立ち寄ってくれた、という話もありました。ポーポキの力はすごいけど、紙芝居も多様な人のいろいろ気持ちをつなげる、面白いツールだと感じます。

町並み大きく変わった、という話もありました。工事が進み、それは喜ばしいことかもしれません。一方で、「復興」という町の変化を町の人々がどのように受け止めていくのかは、これから私たちが一緒に関わっていけることなのかもしれません。町のこれからを一緒に考えられる仲間は多いほうがいい。ポーポキの出番かな。

参加者の方が、なかなか被災地の状況を詳しく知る機会はないので参加できて良かったと、と話していました。一般的な報道では、個別の復興についての詳細を知ることはできません。それには、ずっと関わり続けるポーポキのような活動がたくさんあることが必要不可欠です。7 年が経過し被災地の情報が減っていく中で、こうした報告会を通じて、個別の復興状況を少しでも知る機会を設けることは、市民メディアの大きな役割ではないか、ということも改めて感じました。

模索しながらも続いているポーポキ友情物語。大槌の人は、もっと模索し続けている。大槌町はとても遠い！だけど、去りがたく、また訪れたくなるのは、寒さを忘れさせてくれほどの大槌の人の温かさがあるからに違いありません。

報告会が始まりました。少し緊張。

いい笑顔！報告会の後。

うれしい報告

さとにゃん

ポーポキの活動は、参加するみんなも参加してくれるみんなも怪我しないように安心・安全には気をつけます。でももしもの備えに、“ひょうごボランタリープラザ”でボランティア保険をかけています。

そこで、平成２９年度県民ボランタリー活動助成の募集を見て、ポーポキの活動が趣旨に合致していたので応募しました。

助成金獲得のために、活動報告書を一生懸命まとめて、色々な書類をいっぱい書いて申請しました。

平成 30 年４月２５日付けで助成金交付通知が来ました！！

ちょっと嬉しい。

今年度も募集があったら頑張ろうかな。

平成２９年度ひょうごボランタリー基金
県民ボランタリー活動助成金交付決定通知書

団体名　ポーポキ ピース プロジェクト

代表者職・氏名

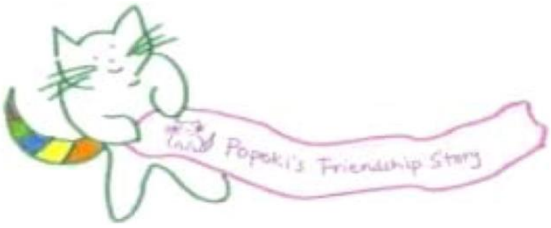
活動内容

郵便番号　〒658-0203　FAX番号　078-926-0116

平成29年度ひょうごボランタリー基金長員ボランタリー活動助成金の交付を、次のとおり決定します。

助成金交付決定額　25,000円

社会福祉法人　兵庫県社会福祉協議会



Popoki's Interview

はやしにゃん
対象：　林　香里さん

絵と絵本と医療と災害の持ち寄りパーティー（ぽっとらっく）にて
開催日：2018 年 3 月 17 日（土）　場所：灘区民ホール

前号に続いて「ぽっとらっく」での講演者のインタビューです。
今回は子どもの権利関西ネットワーク子ども会議メンバーの小学 5 年生、林香里さんのインタビューです。大人たちに混ざっての話は短いものでしたが、子どもの権利がどういった環境で可能になるのか、考えさせる発言だったように思いました。

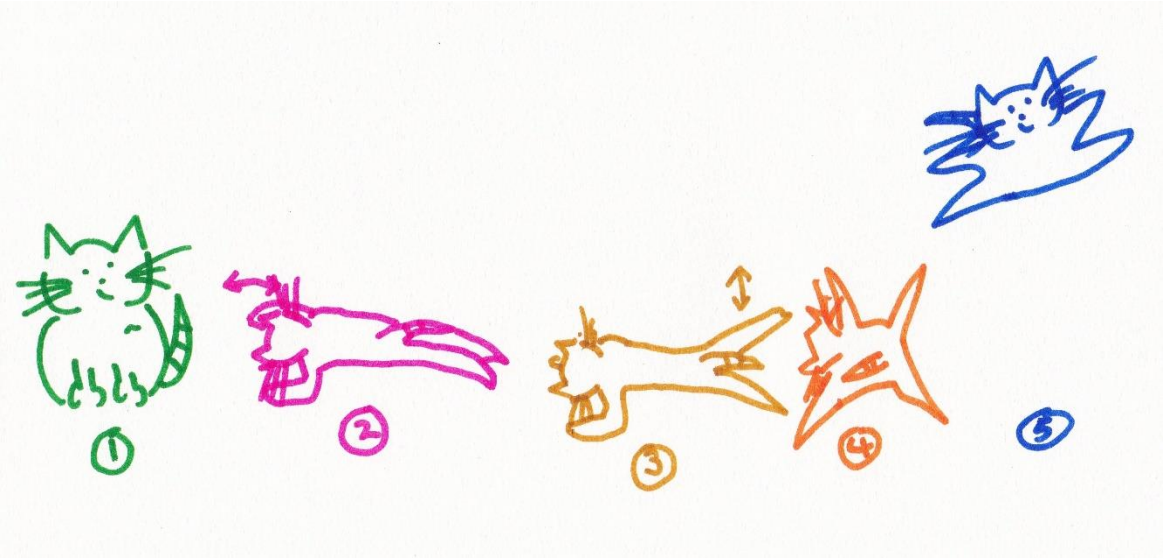
インタビュー
Q1:　もう一度、学校の日常のなかでの安心安全について、ぽっとらっくでの発言を紹介してください。
香里さん：　学校の担任の先生の表情が、喜怒哀楽の「怒」しかないのです。その人はずっといるのに、その人のことが分かりません。それで、生徒の方はどこか落ち着く感じがしないのです。怒り以外の感情もあるらしいのですが、それを先生はほとんど見せることがありません。怒り以外の感情も見せてほしいです。

Q2：　ぽっとらっくで一番印象的だったことは？
香里さん：　（勅使河原君江先生によるパステルを使った「安心を表現する」）お絵かきコーナーです。自分が木登りをしている絵を描きました。安全かどうかはビミョーだけど、木に登っているときは落ち着くことができます。サルの遺伝子のせいかなー？

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 120

今月のテーマは、腹筋を鍛えること！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
2. では、うつ伏せになって、肘を肩の下の位置で体を支えながら、足やしっぽをまっすぐ後ろへのばす。そこでだ！同じ姿勢をキープしながら、まずは片手を前にゆっくり伸ばして、もどす。そして反対の手を伸ばして、もどす。
3. 次は、同じ姿勢で足を交互に上げましょう！
4. 最後は、つかれた！大の字になって、休みましょう！
5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！

お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低３分間練習しましょうね。

ご一緒にいかが？

次回のポー会：５月 30 日　19:00～　灘薬剤師会（六甲道）

6.2　ポーポキ@畿央大学　「平和と健康ワークショップ」
7.1　ポーポキ@灘チャンレンジ！
7.14 ポーポキ@こどもの里！
8.6　08:00～　ポーポキのヒロシマディースカイプ
8.6　午後　ポーポキの平和ワークショップ@多文化共生セミナー
10.20　ポーポキと一緒に平和と健康を考える WS@兵庫医療大学

ポーポキの友だちから
新しい絵本：中條聖子著、ロニー・アレキサンダー訳『森のかんづめ』（日英版）エピック 2017年

Popoki in Print

ポーポキ通信のバックナンバー：
http://popoki.cruisejapan.com/archives.html

- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのまど 52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange http://www.interpeople.or.jp
- **関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ（WEB版の事例集）にポーポキ！http://www.interpeople.or.jp**
- **『平和を考える絵本出版　被災者支援きっかけに』『神戸新聞』（貝原加奈　2014.4.25　28 面）**
- **「ボランティア 37 団体に助成　大和証券福祉財団」『神戸新聞』（2013.8.23　朝刊　地域経済　8 面）**
- **「原爆の熱線で焼き付いた一　″人影″再現、非核誓う」『神戸新聞』（2013.8.7　朝刊　22 面）**
- 「被災　秘めた思い描いて」「ひと人抄」『読売新聞』（2013.2.16　夕刊　4 面）
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー　『毎日新聞』 2012.10.29 （「今、平和を語る」、夕刊、1 面）
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics.* Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒につくり出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日［子どもと守る9条の会］
- 「布に希望　60 メートル」 阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29 面)
- 「平和祈る声まとめ本に」 斎藤雅志　『神戸新聞』 2012.1.19　(伝える 1・17　3・11、22 面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima.* Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- **「省窓」『神戸青年』 No.606　2011.1.2 p.1**
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なに色？』の背後にあるもの」 (連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ：こくさいのまで⑮(パレスチナについて) 『神戸青年』No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- ［ヒロシマと世界：　被爆地の声　非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え］ **http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja**
- 2010.3.15 中国新聞　ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO　76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9　Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (http://www.infactispax.org/journal/)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』（日本汎太平洋東南アジア婦人協会） No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号　2009.11　伊丹市国際・平和交流協会　年間事業報告　pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌　ポーポキ・ピース・チャンレジ情報　p.12
- **区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2.　ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。**
- **「『ポーポキ、友情って、なに色？』」「私のいち押し」 奥田光子　THE GAIDAI　2009.7.17　No.243 （関西外大通信）**
- **「友情って・・・考える絵本」 朝日新聞 「生活」(阿久沢悦子） 2009.7.2**
- **「友情を考えて~人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信　RST/ALN　2009.6.28　No. 259, p.11**
- **「カティング・エッジ」 第 35 号　2009.6 （北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」）「新刊紹介：『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック 2」（レベッカ・ジェニスン） p.3**
- **「猫を通して平和を考える　絵本の第 2 弾を出版」（斎藤雅志） 神戸新聞　2009.4.21**
- **「ポーポキ、平和ってなに色？」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1　No.593　p.2**
- **「ポーポキ、ゴミってなに色？」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592　p.2**
- **「友だちになってくれませんか？」 RST／ALN　2009.2.22**
- **ラジオ番組の中のポーポキ！！！プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。　http://www.kizzna.fm/　録音番組。（リンクは現在無効）**
- **やさしいから人なんです展パート20　実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所　2008. 10　500 円。 詳しくは： blrhyg@osk3.3web.ne.jp**
- **「KFAW カレッジ　ロニー・アレキサンダー氏　講演会」 エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 （アジア女性交流・研究フォーラム）**
- **「ピースセミナー　in　熊本　あなたにとっての「平和」とは？」 Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1**
- **神戸新聞 「人権宣言　兵庫から発信　全 30 条　イラストで表現　地元ゆかり　6 名がパネル制作」 2008.10.8. 10**

わたしにとってのポーポキ

いしのにゃん

大学というのは素晴らしい場所で、私は学部時代、留学時代、そして大学院で、共に考える素晴らしい仲間に恵まれました。特に神戸大学の国際協力研究科では様々な価値観をもつ人々との出会いが、私の学びをとても贅沢なものにしてくれました。とってもピュアな心で途上国の子どもの教育のために開発を研究する人、北東アジアの領土問題について熱い心でクールに語る人、みんな興味は様々です。でも、一つの問題に対してそれぞれの考え方があるのが当然、という姿勢は授業中でも廊下の立ち話でも、みんなが共有していて、なんて素晴らしい環境なんだろう、と何度も思わされた学生生活でした。

そんな仲間の中にポーポキがいました。２年間の院生生活を走り抜け、修士論文を提出したすぐ後に参加した大槌町の旅で、被災した町を実際に訪れて見聞きしたことは、私の心身に重くのしかかってくるようでした。前向きになれない、人の耳に心地よい言葉を口に出せない、ひねくれた自分がいました。でも、私の心がどんなに冷たい時も、ポーポキが居るところではあたたかい空気が流れていました。その場にいる一人ひとりを認めてくれる、ここは安心できる場所だと、ポーポキの周りにいるみんながそう思っているように感じました。どんなことも、一緒に考えることを大切にし、お互いを認めあおうとする姿勢を持ち続けること。社会ではそういうことが必ずしも優先されないかもしれません。でも、ポーポキがいることでその周りから少しずつ、あたたかい空気が広がっていけば素敵だな、と思います。

神戸大学卒業式の日に研究科の前で　→

←　大槌町の新たな復興拠点施設「おしゃっち」。手前の公園の中央部は、かさ上げする以前の地上の高さになっている。

ご協力お願いいたします！

ポーポキ･ピース･プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース･ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース･ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース･ブック 3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011 年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語　東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を 2012 年 1 月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース･ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース･ブックの翻訳（『ピース･ブック1』は既に10ヵ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース･ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさりたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「ご一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いいたいと存じます。本の購入･寄付･本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.com へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561･FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ･ピース･プロジェクト　popokipeace(at)gmail.com

http://popoki.cruisejapan.com
郵便振替口座番号　00920－4－280350
ゆうちょ銀行　店番099　店名099店　当座　口座番号0280350
口座名　　ポーポキ･ピース･プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円　何口でも結構です。

THANK YOU FROM POPOKI!